

<p style="text-align: center;"><b>分析化学 I</b> (Analytical Chemistry I)</p>	<p style="text-align: center;"><b>1 年・後期・1 単位・必修</b> <b>物質化学工学科・担当 亀井 稔之</b></p>	
<p style="text-align: center;">〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標 (2)〕</p>		
<p>〔講義の目的〕</p> <p>企業において研究、開発、分析等を行うにあたっては、その対象となる化学物質に関する知識が重要である。本講義では、その中でも有機化合物の基礎となる官能基の分類と性質、反応、合成法などについての特長と、有機化合物から派生する高分子化合物、生体内化合物に関する基本的な性質を理解すること目的とする。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>前期に学習した化学に関する知識を、有機化合物に関する内容へと発展させる。有機化学に関する事項を、体系的に理解するために必要な事項として、有機化学の基礎的事項である命名法、官能基、構造、性質などを中心に講義する。これまでに学習した周期表、電気陰性度などのキーワードから有機化学を体系的に解説する。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>有機化学は、有機材料、高分子材料、生命化学を理解するために重要な分野である。命名法など最初は暗記事項が多いが、化合物の特長などは、これまでに学習した化学の基本的概念を発展させることにより理解することが十分可能である。有機化学の基本的事項を理解するとともに、すべての範囲にそれが応用可能であることをつかんでほしい。理解を深めるために適宜演習を行う。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <p>後期中間試験：有機化学の基本的事項を理解し、化合物（アルコールまで）の特長を理解する。</p> <p>後期末試験：有機化学の基本的事項から、身の回りの有機化合物の特長性質を理解する。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>定期試験、小テスト(80%)、宿題、提出物(20%)。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>化学（啓林館） フォトサイエンス化学図録（数研出版）</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p>		
<p>〔関連科目〕</p> <p>前期に学習した化学の内容</p>		

## 講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	有機化学の基礎	周期表と軌道、オクテット則、共有結合、電気陰性度	
第2週	有機化学の基礎	有機化合物の元素分析	
第3週	有機化学の基礎	結合と官能基	
第4週	炭化水素	アルカン	
第5週	炭化水素	アルケン	
第6週	炭化水素	アルキン様々な異性体	
第7週	アルコール	アルコールとその性質	
第8週	演習	中間試験	
第9週	カルボニル化合物	アルデヒド、ケトンとその性質	
第10週	カルボニル化合物	アルデヒド、ケトンとその性質	
第11週	カルボン酸	カルボン酸	
第12週	油脂	油脂とエステル	
第13週	芳香族化合物	芳香族化合物とその性質	
第14週	芳香族化合物	芳香族化合物とその性質	
第15週	芳香族化合物	芳香族化合物とその性質	
学年末試験・テスト返却・学力補充期間			

\* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.  
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)